

カといふは、字の音をもて呼びし也、オホミカといふは、オホは大也、ミカは甕也、俗に大桶をユカヲケといふ事は、ユカとは甕の極めて大なるものをいひしかば、大桶をも亦かくいひしと見えたり、即今俗に、酒戸の大桶をオホコガなどいふは、ユカナケといふ語の轉訛せしと見えたり、

〔延喜式〕主計二十四凡左右京五畿内國調、一丁輸錢隨時增減、其畿内輸雜物者、略中陶器、八丁池由加

各一口、受五石一丁由加一口、受一石

凡諸國輸調、略中陶器三丁池由加、各受五石、小由加四口、受一石

〔延喜式〕主殿三十六供奉年料、准此中宮

池由加二口、釜殿一口湯殿一口、由加廿口、略中

右起十一月一日迄來年十月卅日料

〔延喜式〕內膳三十九年料、略中

由加十六口、水汲運

平盆

〔倭名類聚抄〕瓦器十六盆 唐韻云、盆蒲反、字亦作盆、辨色立成云、比良加、俗云保止岐、瓦器也、爾雅云、瓮謂之缶、音不兼名苑云、盆一名孟、音子

〔箋注倭名類聚抄〕瓦器四按比良平也、加與美賀由賀之賀同、比良加其形平也、廣本注未有俗云保止

岐五字、按御保止岐見大神宮儀式帳、推古紀、新撰字鏡、甌毘毘毘皆同訓、則保止岐非後俗語、

儀式帳有御比良加、御保止岐二名、其物不同、可知謂保止岐爲比良加之俗名、非是、略中說文、盆、

也、考工記、陶人爲盆、實二甬、厚半寸、脣寸、方言、甌謂之盆、自關而西、或謂之盆、或謂之盞、略中按說文、

孟、飯器也、方言、盞謂之孟、是孟與盆不同、兼名苑以孟爲盆一名、不知何據、

〔段注說文解字〕皿五上盆、盞也、廣雅、盞謂之盆、考从皿分聲、步奔切、

〔事物紀原〕八什物器用盆